

令和7年3月三田市議会定例会(第380回)一般質問発言通告一覧

(第2日・3月5日 代表質問)

15番 幸田 安司 <一問一答>

- 1 三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合について
 - (1) これまでの取り組み状況について。
 - (2) 新病院の医療機能向上について。
 - (3) 将来の財政負担について。
 - (ア) 新病院の建設費について
 - (イ) 三田市の財政収支見通しについて
- 2 三田のまちの再生と賑わいについて
 - (1) フラワータウン地区の活性化に向けた再整備について。
 - (2) JR 三田駅を高架にすることで道路網を東西南北に確立でき、市内交通の利便性の向上や踏切の閉鎖による安全性が図れると考えられることから、三田のまちの中心の賑わいを創出できないか。
 - (3) 三田駅前 C ブロック地区第一種市街地再開発事業の進捗と公益的施設の具体的な施設計画について。
 - (4) ペDESTリアンデッキ(キッピースクエア)の利用状況と改修工事について。
- 3 三田の歴史・文化を継承していくことについて
 - (1) 三田市と北海道浦河町との交流について。
 - (2) 三田町における忠魂堂跡地の計画について。
- 4 三田市の今後の農業施策について
 - (1) 担い手の確保・育成について。
 - (2) 生産性の向上について。
 - (3) 今後5年先、10年先の三田市の農業は、継続して営農できるのか。ほ場整備事業を推進してはどうか。
 - (4) 雑草を抑制するセンチピードグラスを三田市でも推奨して、草刈りの省略化を奨めてはどうか。
 - (ア) 農業以外にもセンチピードグラスを使用することについて。
- 5 三田市の災害対策と危機管理について
 - (1) 市の災害対策における初動と各関係機関との連携、具体的な動きについて。
 - (2) 気象庁の早期注意情報を入手した場合、市は市民に対してどのような注意喚起を行うのか。
 - (3) さんだ防災リーダーの会と三田市との連携について。

16番 肥後 淳三 <一問一答>

- 1 住民自治のあり方について
 - (1) 区・自治会が消滅した場合の不都合。
 - (2) まちづくり協議会の設置で地域の課題解決が進まない要因。

- (3) 真の住民自治移行へ。(仮) コミュニティ条例の必要性和財源の見直し。
- 2 学校給食米供給のあり方について
 - (1) 学校給食三田産米を市内の生産者から直接購入する仕組みへのシフト。
 - (2) 環境創造米、有機米を学校給食に提供する取組。
- 3 さんだゼロカーボンシティの取組について
 - (1) 農地ソーラーシェアリング導入の可能性とその検討状況。
- 4 若者のまちづくりについて
 - (1) 若者のまちづくり条例の制定。
 - (2) 未来カルテを用いた高校生議会の取組。
- 5 誰もが移動便利なまちづくりについて
 - (1) 地域公共交通計画の見直し。新病院や総合福祉保健センターへの自動運転シャトルバスの運行。
 - (2) 新病院基本計画掲載の交通アクセスの基本方針と交通手段分担率の考え方。
- 6 三田市に設置されていない美術館や博物館機能のあり方について
 - (1) 「デジタルミュージアム」の進捗状況と評価。
 - (2) 今後の美術館や博物館機能のあり方。
- 7 歴史資料収蔵庫のあり方について
 - (1) 「三田市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針」の中間見直しにおける、歴史資料収蔵庫機能のあり方。
 - (2) 南海トラフ地震等大災害に備えた他市町との美術品・芸術品保管協定の締結。

19番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 市長とステークホルダーとの対話と関係構築について
 - (1) 市民との対話と関係構築について。
 - (2) 職員との対話と関係構築について。
 - (3) 議会との対話と関係構築について。
 - (4) 県・神戸市との関係構築について。
- 2 農業を取り巻く諸課題について
 - (1) 地域計画の策定状況と活用について。
 - (2) 小規模農家、新規就農者への営農支援について。
 - (3) 市内の有害鳥獣被害の実態と対策について。
- 3 安心して生み育てる環境づくりについて
 - (1) 近年の市内出生数減少の受け止めについて。
 - (2) 多様な出産ニーズに応える環境づくりについて。
 - (3) 幸せな出産、妊娠に繋げるための「いのちの授業」について。
- 4 三田国際マスターズマラソンの抜本的な見直しについて
 - (1) ハーフマラソンエントリー数低迷の要因分析について。
 - (2) ハーフマラソンの競技的志向とファンランとを両立するダブルスタンダード型大会への転換について。
 - (3) 市民参加率の向上とブランディングについて。